

とうきょう すくわく プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

彰栄幼稚園 実践紹介！

とうきょう すくわくプログラムってなに？

幼稚園や保育所において、子供たちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子供たちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。



すくすく

すべての乳幼児の
伸びる・育つ

×

好奇心・探究心

を応援する幼保共通のプログラム

東京都

わくわく

「非認知能力」の育成等、乳幼児の成長・発達をサポート

好奇心を持つ
きっかけを増やす

考えを広げる

考えを深める

すくわくプログラムはどんなことをするの？

安全安心な環境のもと、子供たちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、好奇心を持つきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

非認知能力とは

自己にかかわる心の力

- 自尊心
- 自己肯定感
- 意欲
- 粘り強さ

社会性にかかわる心の力

- 心の理解能力
- 共感
- 思いやり
- 協同性

テーマに関する子供たちの考えやイメージを引き出すための問い（例：〇〇ってなあに？）を考え、素材や道具を準備し活動を行います。

テーマ例：光・色・自然・音・泥遊び・絵本など

豊かな心の育ちを応援
乳幼児期は、「非認知能力」を培う大切な時

東京大学大学院 教育学研究科 教授 同附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) 長 遠藤 利彦

子供が伸びやかに成長していくためには、無限大の好奇心に従って、心躍らせながら遊び学ぶことが重要です。また、同年代の子などと互いの個性を認め合いながら、1つのことに協力して取り組むことも大切です。この認識のもと、東京都と CEDEP は、「とうきょう すくわくプログラム」の支援に連携して取り組んでいます。



とうきょう すくわくプログラムは
こちらからご覧いただけます。

とうきょう すくわくプログラムは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) との協定の下、東京都の「とうきょう すくわくプログラム推進事業」として策定したものです。



学校法人彰栄学園
彰栄幼稚園

電話
03-3941-1239
所在地
東京都文京区白山
4-14-15





とうきょうすくわくプログラムに取り組みました

テーマ 穴

絵本「はなのあなのはなし」をきっかけに、子供たちは「穴」にはそれぞれ理由があることを理解しました。絵本以外の「穴」について子供たちと話し合ったところ、興味関心を抱く姿が見られたので、探究する面白さに気づく体験と、遊びが深まることを目的に、穴をテーマとしました。

穴を作ってみよう！

これまでの活動の中で、子供たちはそれぞれ、「穴」を見つけて写真を撮り、その写真をプロジェクターに写してみんなで共有してきました。

また、それぞれの「穴」が何のための「穴」なのかについて想像したり、ポスターにまとめたりする活動を行ってきました。

穴について様々な探究してきたことで、子供たちは、「穴がなぜあるか」「穴には理由がある」ということが分かってきました。

そこで今回は自分で穴を作り出す活動をしました。



紙にどうやったら穴が開くかな？

A4 サイズの紙とボールペンで、子供たちはどうやったらうまく穴が開くか、試していました。1か所に何個も開ける、一列に開ける、ちょっと浮かせる等、思い思いの方法で穴を開けていました。

ギュッと押して、開いたよ

ぷす、と音がした



紙に開けた穴をのぞいてみよう！

思い思いに穴を開けた後は、プロジェクターでスクリーンに映し出した水族館の映像を、紙の穴を覗いて見てみました。

穴を通して見た時とそのまま見た時の見え方の違いに子供たちは気が付いていました。



紙を裏返すとよく見える！



もっと見たい！



狭い穴から見えたものを見逃すまいと、集中する姿が見られました。

活動を通して

普段から、「穴を見つけたら教えてね」と子供たちに伝えているので、毎日の生活の中で身近な穴を見つけ、理由を考えて先生に伝えてくれています。子供たちの興味は尽きません。

「穴」という同じテーマで長期間継続して活動するからこそ、子供たちは1つの状況を多角的に考えることができ、人に聞いたり、図鑑で調べたりして、より深まりが見られています。